

令和8年2月定例会

行政改革・基本計画等に関する特別委員会

総務部長説明

総務部長の山本でございます。

委員の皆様方におかれましては、日頃より本県の行財政運営の推進に格段のご指導を賜り、厚くお礼申し上げます。

本日は、現行の行財政プランである「新中期行財政経営プラン」の取組状況と、新たな「行財政経営・組織力強化プラン」の素案についてご説明いたします。

これまで本県は、数次にわたる行財政プランのもと、組織の効率化や財政健全化を進めてまいりました。令和4年度からは現行プランである「新中期行財政経営プラン」に基づき、取組を進めてきたところです。

一方で、人口減少の進行や物価・金利の上昇などにより、本県の行財政運営を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。こうした中でも、複雑化・多様化する行政課題に的確に対応していくためには、人材の確保・育成や組織体制の最適化を図り、組織力を一層高めていくことが不可欠です。その上で、限られた行財政資源を有効に活用し、「仕事」と「人」のバランスを踏まえた行財政運営がこれまで以上に重要となっています。

こうした状況に加え、昨年12月に策定いたしました「和歌山県総合計画」で掲げる将来像を実現するためには、県政を安定的に運営できる強固で柔軟な行財政基盤の確立が不可欠です。

このため新たなプランでは、組織力の向上を軸とした行財政基盤の強化を柱に、令和8年度から令和12年度までの5年間における行財政運営の基本的な考え方と取組の方向性をお示ししております。

現在、県民の皆様から幅広くご意見をいただくため、パブリックコメントを実施しているところであり、その結果も踏まえた上で、

本年3月中の策定を目指してまいります。

現行プランの取組状況と新たなプランの素案の内容につきましては、このあと人事課長からご説明させていただきます。

今後とも、本委員会でのご意見を賜りながら、持続可能で強固な行財政基盤の構築に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。